

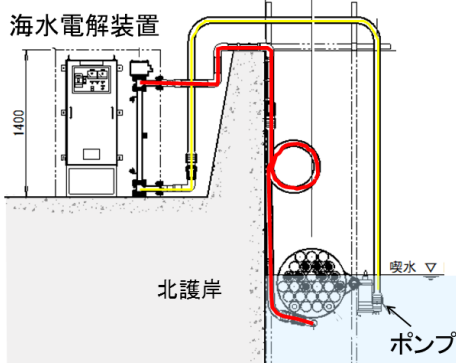
効果確認の概要

- 以下の4案について、効果確認を実施



① 海水電解装置案 (1本)

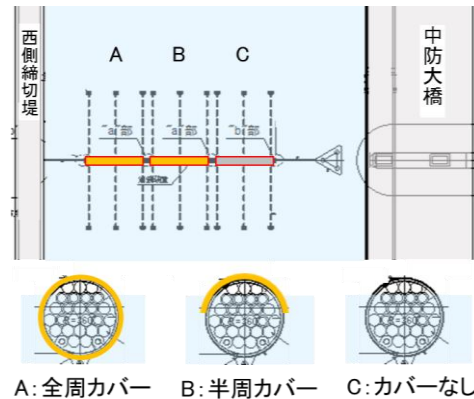
- 電気分解によって発生する次亜塩素酸により、貝付着を抑制
- 水位に追随する



- 開放空間での採用は初
- 主に次の2点を確認
 - ① 貝付着抑制効果
 - ② 消費電力等の維持コスト

② 被覆カバー案 (3本)

- カバーで稚貝付着、日当りを抑制
- 水位に追随する

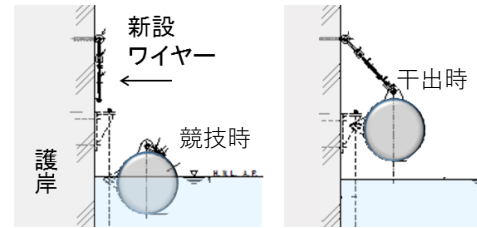


- A: 稚貝の付着を防ぐ目的
運用での付け外しを想定
- B: 日当たりの要因を確認
- C: A, B との比較用

③ 吊り上げ案 (3本)

- 定期的にワイヤーで吊り上げ干出
- ワイヤーの付外しが可能

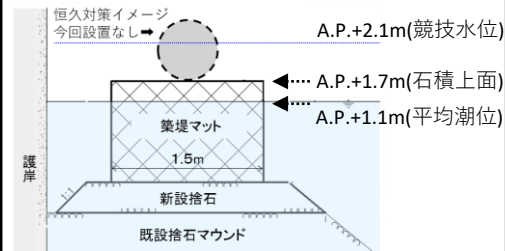
	水中設置	干出
ア	2週間	1週間
イ	3週間	1週間
ウ	4週間	1週間



- 水中設置期間を変え上げ下げを繰り返して、貝付着抑制効果を確認
- マガキは約2週間で3~5mm程度に成長するが、定着前に干出させることで、へい死させる

④ 石積み案

- 消波装置を石積みで支える(構造的に強固)⇒消波装置は競技水位時にのみ機能。競技水位以下では石積みに消波効果を期待
- 石積み上の消波装置では貝は大きく成長しない



- 今回は消波装置を設置せず、石積み本体の消波機能・貝付着状況、金網の腐食状況等を確認